

1 カリキュラム作成の視点

保幼小接続期カリキュラムを作成するときには、以下の3つの視点を持って考えると整理しやすく、活動自体もバランス良くなるとおもわれます。



【視点1】

生活をつなぐ

乳幼児期からの遊びや生活経験をもとに、これまでの気付きや学びが小学校入学後の学習や生活に生かされるようになる。また、身辺処理も自立に向かってますます意欲的になる。

【視点2】

人をつなぐ

友達や大人との触れ合いを通して他者意識が芽生え、よりよく関わろうとする意欲が出てくるようになる。また、小学校や児童、教諭の存在を身近に感じるようになる。

【視点3】

学びをつなぐ

小学校に対する全体像を目や心で感じることで安心感を持つようになる。また、知りたいことや見たいことなど、多くのことに興味・関心を示し、自分で調べたり、周囲の大人に聞いたりするようになる。



アプローチカリキュラムは、小学校教育で指導する文字の読み書きや計算などを前倒して指導するカリキュラムではないことに十分留意しましょう。一方で、幼児の小学校入学後の学習や生活を想定し、「小学校入学までには身に付けておくことが期待されること」を考慮し、具体的な場面を念頭に置いて保育に当たることも有益です。

〈例えば〉 □自分の名前が読める。

□給食や弁当を自分で食べる。

□一人でトイレを利用する。

□ロッカーに自分の荷物を収納する。